

# 18 WordPress

## 1. WordPressについて

### 1-1. CMSとは

CMSとは、コンテンツ・マネジメント・システムの略です。WEBサイトを管理・更新できるシステムのことをいいます。

CMSでは、HTMLやCSS等の専門知識が必要な部分は全てシステム側で制御し、簡単にWEBサイトを更新することができます。

CMSは、専門的な知識を学習することなく、誰でも簡単にWEBサイトを更新・管理することができる大変便利なシステムです。

WordPressはそんなCMSのうちの一つで、WEB上で無料で公開されているので、誰もが利用することができます。

### 1-2. WordPressとは

WordPressのシステムはPHPにより構築されています。たとえば、ブログの「記事の内容」や「更新情報」などはMySQL（マイ・エスキューエル）というデータベースシステムにより管理されています。よってWordPressはPHPとMySQLが使用できるサーバが必要となります。

レンタルサーバと契約し、独自ドメインを取得し運用するのが簡単な方法の一つです。レンタルサーバ内でワンクリックでWordPressをインストールできるものも多くあります。

本講義では、PCのローカル環境にWordPressを構築していきます。PHPの章でインストールしたXAMPPを使用しておこなっていきます。

### 1-3. WordPressの特徴

- バージョンアップ、機能の拡張

バージョンアップは管理画面からクリックをするだけで行えます。簡単に最新バージョンにすることができます。

- 無料の公式ディレクトリ登録テーマが豊富

WordPressはサイトの外観やデザインを変更することができます。これを「テーマ」と呼びます。

公式の無料テーマだけでもかなり多くの種類があります。

- 膨大なプラグインの数

プラグインによって簡単に機能追加ができるのが特徴です。数多くの無料で利用できるプラグインが存在します。

プラグインのおかげで様々な機能カスタマイズを行うことが可能です。

## 2. WordPress の開発環境

### 2-1. XAMPP で開発環境を構築 (Windows の場合)

#### XAMPP を起動する

WordPress を使用するには、前もって Apache (Web サーバ)、MySQL (データベース) を起動する必要があります。一般的なレンタルサーバであれば、常にこのソフトが起動している状態にあります。ローカル環境の場合は、パソコンを起動する度にソフトを起動させないと、WordPress を使用することができないので注意が必要です。

#### Apache の起動

XAMPP の管理画面をひらきます。管理画面の Apache の「Start」をクリックしましょう。「Apache」の文字の背景色が緑色に変わり、下部のログに「running」というステータスが表示されたら起動は完了です。

#### MySQL の起動

次に同じく XAMPP の管理画面内、MySQL の「Start」をクリックします。警告のダイアログが表示されたら、「アクセスを許可する」をクリックします。「MySQL」の文字背景が緑色に変更し、下部のログに「running」というステータスが表示されたら起動は完了です。

#### XAMPP セキュリティの設定

XAMPP の管理画面内の Apache の行の「Admin」をクリックしましょう。ブラウザが立ち上がり「Welcome to XAMPP for Windows 7.1.9」のページが表示されます。このページが表示されれば Apache は正常に動作しています。この段階では、セキュリティの設定をしていませんので、不安定な状態です。まずはセキュリティの設定をします。

①「MySQL」の管理ユーザー (root) のパスワードの設定をします。

MySQL のサービスを起動させたまま、「XAMPP コントロールパネル (XAMPP Control Panel)」右側にあるメニューの中から「Shell」ボタンをクリックして下さい。

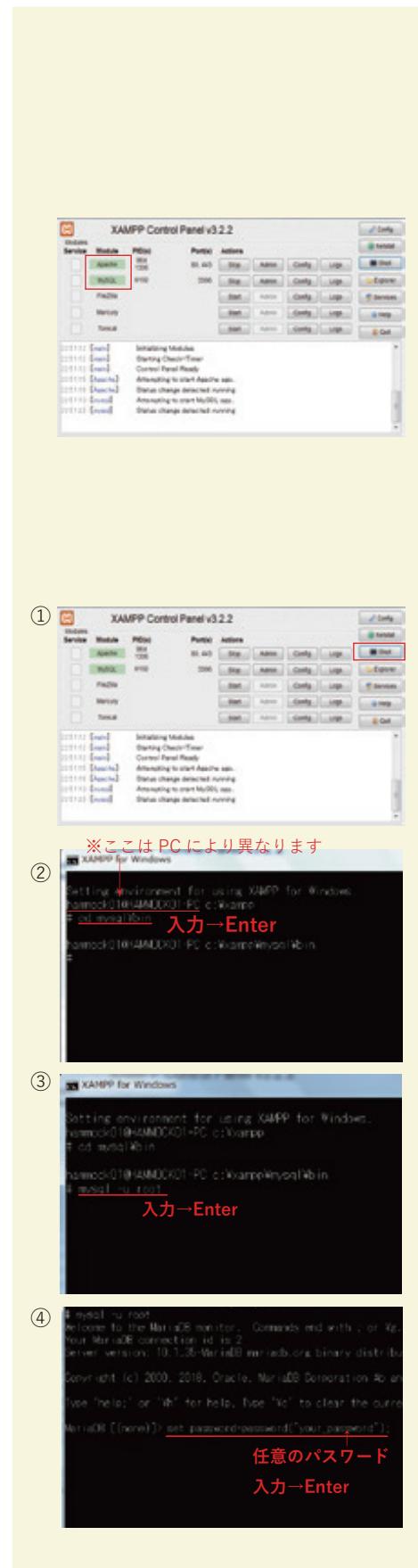
②「Shell」の井桁記号「# (プロンプト)」の後に、「cd mysql\bin」と入力して、Enter キーを押して下さい。

③次の「# (プロンプト)」の後に、「mysql -u root」を入力して Enter キーを押して下さい。

④次に、③で表示されたメッセージの最後「MariaDB [(none)]>」の後に「set password=password('your\_password');」と入力して「Enter」キーを押します。  
※your\_password の部分は任意のパスワードを設定します。忘れないようにメモしておきましょう。

⑤「Query OK」と表示されれば管理ユーザーのパスワード設定が正常に完了です。MySQL に root ユーザーでログインしている状態ですので、接続を終了するコマンド「quit」を入力して「Enter」キーを押します。

Shell のウィンドウを [X] で閉じる、もしくはコマンドの「exit」を打ってウィンドウを閉じます。



## 2-1-2. MAMP で開発環境を構築（Mac の場合）

### Apache と MySQL の起動

MAMP 管理画面右上の「Start」をクリック。アイコンが緑色に変わり、「Stop」と文字が変われば起動中です。

### MAMP セキュリティの設定

- ①Apache と MySQL を停止します
- ②ターミナルを立ち上げ、\$cd /Applications/MAMP/Library/bin/ と打ち込み Enter
- ③./mysql -u root -p と打ち込み Enter
- ④Enter password: と表示されるので初期パスワード「root」を入力する
- ⑤mysql> と教示されるので下記を記入し Enter
- ⑥set password for root@localhost=password('設定したいパスワード');

次に、ファイル内のパスワード記載箇所を修正します。

- ①/Applications/MAMP/bin/stopMysql.sh をテキストエディタで修正  
/Applications/MAMP/Library/bin/mysqladmin -u root **-proot** --socket=/Applications/MAMP/tmp/mysql/mysql.sock shutdown  
↓  
/Applications/MAMP/Library/bin/mysqladmin -u root **-p 新パスワード** --socket=/Applications/MAMP/tmp/mysql/mysql.sock shutdown
- ②/Applications/MAMP/bin/phpMyAdmin/config.inc.php をテキストエディタで修正  
\$cfg['Servers'][\$i]['password'] = 'root'; // MySQL password (only needed)  
↓  
\$cfg['Servers'][\$i]['password'] = '**新パスワード**'; // MySQL password (only needed)

## データベースを作成する

「Apache」と「MySQL」の「stop」ボタンを押してサービスを終了します。

サービスを終了してからウィンドウの[X]、もしくは右メニューの「Quit」ボタンを押して「XAMPP コントロールパネル(XAMPP Control Panel)」を終了します。

①phpMyAdmin の設定ファイル「config.inc.php」を書き換えてログインの認証方法を変更します。「XAMPP」を「C:\xampp」にインストールした場合、設定ファイルは「C:\xampp\phpMyAdmin\config.inc.php」にあります。「config.inc.php」をテキストエディタで開いて、設定を書き換えます。

```
/* Authentication type and info */
$cfg['Servers'][$i]['auth_type'] = 'config';
$cfg['Servers'][$i]['user'] = 'root';
$cfg['Servers'][$i]['password'] = '';
$cfg['Servers'][$i]['extension'] = 'mysqli';
$cfg['Servers'][$i]['AllowNoPassword'] = true;
$cfg['Lang'] = '';

/* Authentication type and info */
$cfg['Servers'][$i]['auth_type'] = 'cookie';
$cfg['Servers'][$i]['user'] = "";
$cfg['Servers'][$i]['password'] = '';
$cfg['Servers'][$i]['extension'] = 'mysqli';
$cfg['Servers'][$i]['AllowNoPassword'] = true;
$cfg['Lang'] = "";
```

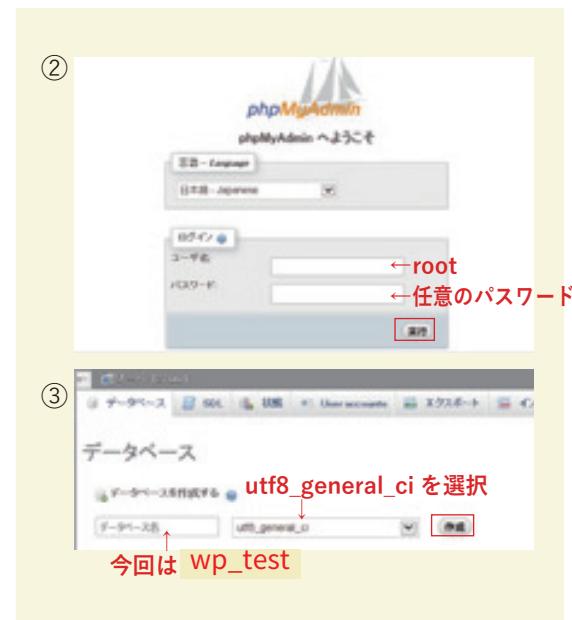
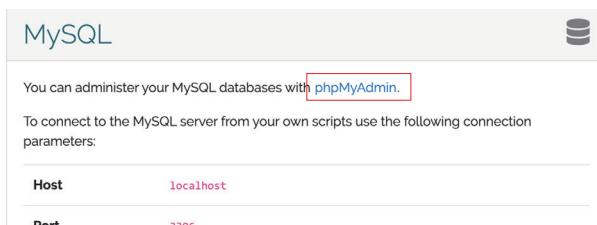


2行目「[auth\_type]」を「[config]」から「[cookie]」に、3行目「[user]」の「[root]」は削除「[ ]」として下さい。変更できたらファイルを保存します。

(※MAMP の場合は上記の作業は不要です)

②「XAMPP コントロールパネル (XAMPP Control Panel)」を開いて、再び「Apache」と「MySQL」を「Start」します。起動したら、「MySQL」の「Admin」をクリックします。phpMyAdmin のログイン認証のページが開かれます。  
【ユーザ名】を「root」、【パスワード】は先ほどセキュリティで設定した任意のパスワードを入力し、「実行」をクリックします。

※MAMP の場合は管理画面右上の「Webart」をクリックしブラウザが立ち上がる  
ので、その WEB サイト中段「MySQL」タブの中の「phpMyAdmin」のリンクを  
クリックします。



③phpMyAdmin のトップページにアクセスされます。画面上部の「データベース」タブをクリックし、表示された画面に任意のデータベース名（今回は「wp\_test」）を入力、セレクトボックスは「utf8\_general\_ci」を選択し、「作成」をクリックします。

「データベースを作成しました。」と表示されたら成功です。

## 2-2. WordPress をダウンロードする

### ダウンロード

WordPress の日本語版サイト (<https://ja.wordpress.org>) にアクセスし、右上の①「WordPress を入手」ボタンをクリック。  
表示されたページ内の②「WordPress ●●● をダウンロード」(最新版)ボタンをクリックし、「ファイルを保存する」を選択して、「OK」をクリックします。ダウンロードが開始します。  
ダウンロードが完了したらファイルを開き、「wordpress」というフォルダごとコピーします。そのデータを XAMPP の「htdocs」フォルダ内に今回は「wp\_test」というフォルダを作成し (C:\xampp\htdocs\wp\_test) その中にペーストします。



## 2-3. WordPress の初期設定

### WordPress のトップページにアクセスする

WordPress のトップページにアクセスしてみましょう。

([http://localhost/wp\\_test/](http://localhost/wp_test/))

※ WordPress にアクセスする場合は、Apache と MySQL 起動されていることを確認してください。

### データベースにアクセスする情報を入力

WordPress のトップページにアクセスし最初の画面「指定ファイルを作成する」ボタンを押して次は進みます。次の画面も「さあ、始めましょう」ボタンで次へ進みます。

すると、データベースにアクセスする情報を設定する画面が表示されますので、データベースの作成で設定した内容を入力していきます。

【データベース名】2-1. 内「データベースの作成」で作成した任意のデータベース名（今回は「wp\_01」）を入力しましょう。

【ユーザー名】【パスワード】セキュリティで設定を行った phpMyAdmin にログインするユーザー名（「root」）と、設定した任意のパスワードを入力しましょう。  
【ホスト名】ここでは「localhost」を入力します。

【テーブル接頭辞】1つのデータベースに複数の WordPress をインストールする時に必要になります。ここではデフォルトの「wp\_」のまま進みます。

入力が完了したら「送信」をクリックしましょう。



### WordPress のサイト名やまた管理画面にログインする情報の入力

次の画面では WordPress のサイト名、また管理画面にログインする情報を登録します。

【サイト名】任意のサイト名を入力。（今回は「Sample」）

【ユーザ名】WordPress 管理画面にログインするために必要となります。任意のユーザ名（今回は「admin」）を入力します。

【パスワード】WordPress 管理画面にログインするために必要となります。任意のパスワードを入力します。忘れないようにメモしておきましょう。（今回は「passpasspass」）を入力します。

【メールアドレス】サイト管理者のメールアドレスを入力します。（今回は「test@sample.com」）を入力します。

【検索エンジンでの表示】検索にでるかどうかのチェックです。今回はチェックを入れます。

入力が完了したら「WordPress をインストール」をクリックしましょう。

「成功しました！」の画面が出たら WordPress の設定は完了です。



### 3. WordPress の管理画面

#### 3-1. 管理画面にアクセス

管理画面にアクセスするには、WordPress がインストールされているディレクトリの「wp-admin」もしくは「wp-login.php」にアクセスします。

(例 : http://○○○/wp/wp-admin/ または http://○○○/wp/wp-login.php)

今回ローカル環境の http://localhost/wp\_test/wp-admin/ にアクセスしましょう。

すると、ユーザ名とパスワードが求められますので、2-3. 内「WordPress のサイト名やまた管理画面にログインする情報の入力」で設定したユーザ名（今回は「admin」）とパスワード（今回は「passpasspass」）を入力し、ログインボタンをクリックします。

ユーザ名とパスワードが正しければ、管理画面に接続できます。



# 19 WordPress の基本

## 1. WordPress 基本設

### 1-1. WordPress の一般設定

今回はデフォルトのテーマ Twenty ○○(バージョンごとに種類があります) というテーマを使用します。

管理画面の左にあるメニューの中から、[ 設定 ]→[ 一般 ] と進んでください。

【サイトのタイトル】 サイト名を変更することができます。

【キャッチフレーズ】 サイトのサブタイトルのようなものです。Twenty ○○ の場合は、サイト名の直下に常に表示されています。必要ない場合は空欄にします。

【WordPress アドレス (URL)】 今回のような開発環境で変更する必要はありません。ドメインが変わった場合などに修正することができます。

【メールアドレス】 登録されているメールアドレスを変更することができます。ダミーでもサイトの構成には影響はありません。本番環境などでは正しく連絡の取れるアドレスにしてください。

設定が終わったら、一番下にある「変更を保存」ボタンを押して設定を反映します。

### 1-2. 表示設定

WordPress の表示に関する設定を行っていきます。管理画面の左にあるメニューの中から、「設定」→「表示設定」と進んでください。

【フロントページの表示】 サイトのトップページをどのページにするかを設定するための項目です。「最新の投稿」に設定されていると、ブログの記事一覧ページがサイトのトップに表示されます。これを別のページに切り替えたい場合は、固定ページを選びます。

【1ページに表示する最大投稿数】 ブログの記事を 1 ページに何件表示するかを設定します。10 に設定されている場合、記事が 11 件になると次の 10 件分ページが分割され、ページネーションが表示されます。

【検索エンジンでの表示】 チェックを入れると、サーチエンジンがウェブサイトをインデックスしないようになります。

例えば、仮で公開しているサイトで、検索にまだ引っかかってほしくない場合などにチェックをいれます。今回はローカル環境なので必要ありませんが、チェックが外れている場合は入れておきます。

### 1-3. パーマリンクの設定

投稿のパーマリンク設定を変更できます。オプションでは、カテゴリー・タグの各アーカイブの URL 構造を変更できます。くわしくは、後述します。

以下のいずれかをオススメします。

①http://example.com/ カテゴリ名 / 投稿名

②http://example.com/ 投稿名

①について設定していきます。共通設定のカスタム構造にチェックを入れ、下記を入力し、「変更を保存」をクリックすると設定完了です。

/%category%/%postname%/

### 1-4. 固定ページの作成

固定ページを追加するには、管理画面から「固定ページ」を選択します。固定ページの一覧が表示されます。

新しく固定ページを追加するには、画面上にある「新規追加」を選びます。管理画面左のメニューにある「新規追加」ボタンをクリックします。(上部のバーの「新規」→「固定ページ」を選んでも同じです。)

ページのタイトルを入力します(今回は「サイトについて」)。

タイトルを入力すると、タイトル入力欄の下にパーマリンクが表示されるので編集から URL を任意のものに設定します。(今回は「about」と書き換えます。)

コンテンツを書き込み、画面右側にある「公開」ボタンをクリックすることで、固定ページが作成されます。

### 1-5. メニューの設置

管理画面の左にあるメニューの中から、「外観」→「カスタム」を選択します。

サイトの見た目とともにカスタム用のサイドバーのある画面が表示されます。そのサイドバーの中から「メニュー」をクリックします。

サイドバー部分がメニュー設定用の画面に切り替わるので、表示された「メニューを新規作成」ボタンをクリックし、次に進みます。

【メニュー名】の欄に任意のメニュー名(今回は「トップメニュー」とします)を入力し、【メニューの位置】の「トップメニュー」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。

「+項目を追加」ボタンが現れるので、ボタンを押すとさらにサイドバーが開き、メニューとして追加する項目を選ぶことができます。「ホーム」と「サイトについて」を選択します。

上部の「公開」ボタンをクリックすると反映が保存されます。

管理画面の左にあるメニューの中から、「外観」→「メニュー」からも編集が行えます。